

提出物一覧(教育職員検定による申請の場合)

申請区分・対象免許状	根拠規定	教育職員検定願(様式第2号の2)	実務成績証明書(様式第2号)	人物に関する証明書(様式第3号)	身体に関する証明書(様式第4号)	卒業証明書(原本)又は卒業証書の写し(原本証明付き)	学力に関する証明書(原本)	教員免許状の両面の写し(原本証明付き)	栄養士・管理栄養士の免許証の写し(原本証明付き)	戸籍抄本等(申請書類にて一つでも姓名や本籍地が異なる書類がある場合)	返信用封筒	手数料(宮崎県収入証紙若しくは郵便為替による。郵便為替の場合、未記入で糊付けせずに提出すること。)	備 考
上級免許状: 幼・小・中・高	免許法別表第3	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○		▲ ※⑤	角型2号の封筒(A4の紙がそのまま入るサイズ)に宛て先、氏名(様まで記載)を明記し、切手(特定記録の場合390円分、簡易書留を希望する場合530円分)を貼付。	5,000 円	▲は必要に応じて提出する書類です。 ※① 宮崎県内の公立学校の現職教員の場合、現任校を除き、過去に勤務していた宮崎県内の公立学校の「実務成績証明書」に代えて、人事記録カード(原本証明付き)の提出も認める。宮崎県内の公立学校の現職の講師等の場合、現任校を除き、過去に勤務していた宮崎県内の公立学校の辞令の写し(原本証明付き)の提出も認める。 現任校の在職期間を含んだ勤務経験により申請する場合は、現任校の分は実務成績証明書を提出すること。 県外や公立以外の学校の証明については、上記の代用は認めない。 ※② 「身体に関する証明書」に代えて、身体に関する証明書の検査事項が網羅された定期健康診断書の写し(概ね1年以内に受診したものに限る。原本証明を付すこと。)の提出も認める。 ※③ 「卒業証明書又は卒業証書の写し(原本証明付き)」は教員免許状の写し(原本証明付き)で卒業年月日が確認できる場合は不要。 ※④ 領域追加の場合、宮崎県教育委員会が発行した特別支援学校教諭免許状(又は養護学校教諭免許状)の<u>原本</u>を提出すること。 ※⑤ 申請書類にて一つでも姓名や本籍地が異なる書類がある場合に提出すること。
同校種他教科	免許法別表第4	○		○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
上級免許状: 実習免許	免許法別表第5	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
上級免許状: 養護教諭	免許法別表第6	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
上級免許状: 栄養教諭	免許法別表第6の2	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
特別支援	免許法別表第7	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
隣接校種	免許法別表第8	○	○ ※①	○	○ ※②	▲ ※③	○	○					
特別支援免許への領域追加	免許法施行規則第7条第5項	○	○ ※①	○	○ ※②		○	○ ※④					
実習免許状	免許法附則第9項	○	○ ※①	○	○ ※②	○	○	○					
栄養教諭免許状	免許法附則第17項	○	○ ※①	○	○ ※②	○	○	○	○				
原本証明とは、原本そのものを提出することができない場合に、原本をコピーし、その余白に原本と相違ない旨を証明することをいいます。 申請時に学校等で勤務していない場合は、原本を送付してください。 【記載例】 この写しは原本と相違ないことを証明します。 〇〇年〇月〇日 △△△小学校 校長 宮崎 太郎 公印													

県収入証紙貼付欄	受付日付
(普通免許状又は特別免許状の場合 5,000 円) (臨時免許状の場合 3,400 円)	

根拠規定		免許法第（ ）条第（ ）項別表第（ ）				審査	
普通免許	添付書類	学力に関する証明書		戸籍抄本			
		実務成績証明書		基礎資格			
		人物に関する証明書		修得単位	教科・養護・栄養及び教職		
		身体に関する証明書			特支		
		教員免許状の写し		所要資格取得年度		年度	
臨時免許	添付書類	臨時免許状授与内申書		講師	卒業、修了又は資格に関する証明書		
		人物に関する証明書			成績証明書		
		身体に関する証明書		更新する臨免原本			
		教員免許状の写し等		戸籍抄本			
		教諭	教科教育成績証明書				
特別免許	添付書類	人物に関する証明書		推薦書			
		身体に関する証明書		卒業、修了又は資格に関する証明書			
		実地に関する経験又は技術の証明書		戸籍抄本			

実務成績証明書						
勤務校		氏名		生年月日	年 月 日	
勤務成績		優良 ・ 不可 ※どちらかに○をつけ、評価の基礎となる具体的内容を記入すること				
① 教員としての 在職期間	学校種	職名	担当教科	期間		合計
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）			年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）			年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）			年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）			年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
② 実際に勤務しなかつた期間及び 事由（休職・産休・育休等）	事由			期間		合計
				年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
				年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
				年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
				年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日	
(①の期間) — (②の期間)					年 月 日	
上記のとおり副申する。 年 月 日 所属長職氏名 印						
上記のとおり証明する。 年 月 日 実務証明責任者 印						

- （備考）
- 勤務成績の欄には、勤務の状況、教育力、社会性その他について記入すること。
 - 学校種の欄では、該当する学校種に○をつけること。なお、特別支援学校勤務の場合には、在籍した部も選ぶこと。
 - 職名については、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、実習助手の別に記入する。講師の場合、常勤、非常勤の区別をして記入すること。
 - 現任校で証明する場合、「期間」の終期は証明日と同日とすること。
 - 複数の勤務校における在職期間を証明する場合は、それぞれの勤務校ごとに作成すること。
 - 実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

人物に関する証明書							
氏名				職名		生年月日	年 月 日
観察事項（以下の該当欄に○印を付すこと。）							
1	責任感	ややもすれば責任を回避しがちである	責任は果たすが不十分である	責任を果たす	責任を十分に果たす	責任を積極的にしかも完全に果たす	
2	協調性	協力して仕事をするのが少ない	協力して仕事をするが範囲が狭い	協力して仕事をする	多くの人と協力して仕事をする	全ての人と積極的に協力して仕事をする	
3	計画性	計画性が少なく着眼性もあまり良くない	着眼点は良いが計画性がやや少ない	計画性がある	計画性があり着眼も良好である	優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である	
4	信頼度	誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い	一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある	誠実で信頼される	誠実で人々からの信頼が厚い	誠実で多くの人々から全面的に信頼される	
5	判断力	ややもすれば判断に的確を欠くことがある	おおむね中正な判断をするが適当とは言えない	中正な判断をする	中正で的確な判断をする	あらゆる場合に中正で的確な判断をする	
6	言動	言動に慎重を欠きがちである	言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある	言動と動作とも普通である	言動は明快で動作に節度がある	言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない	
教員としての適格性		有 ・ 無 ※どちらかに○をつけ、その理由を記入すること					
上記のとおり副申する。 年 月 日 所属長職氏名 印							
上記のとおり証明する。 年 月 日 証明責任者 印							

- （備考） 1 所属長の証明は、現職でない者は出身学校の責任者又は県教育委員会が適当と認める者によるものとする。
- 2 証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

身体に関する証明書	
氏名	
生年月日	年 月 日生
視力	右 (矯正) 右 左 左
聴力	右 左
疾病異常等の所見	
上記のとおり診断する。 年 月 日 医療機関 所在地 名 称 医師氏名 印	

教育職員検定願					
申請 免 許 状	特別支援学校 教諭（専修・1種 2種 ・臨時・特別）免許状			教科・ 領域	知的・肢体
ふりがな	みやざき たろう		電話 番号	本人・日中連絡先	050-1111-2222
氏 名	宮崎 太郎			所属（〇〇小）	0985-26-7240
現 住 所	宮崎市橘通東1丁目9番10号				所属先がない場合は記入不要
生年月日	(和暦) 〇〇 年 〇 月 〇 日		本籍地	宮崎 (都道府県)	
私は、関係書類を添付のうえ、上記免許状の教育職員検定による授与を申請します。なお、教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定に該当しないこと及びこの出願について虚偽のないことを誓います。 (教育職員免許法第5条第1項第3号から第6号までの規定) 3号 禁錮以上の刑に処せられた者 4号 第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者 5号 第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者 6号 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者 〇〇 年 〇 月 〇 日 宮崎県教育委員会 殿 申請書を記入した日付 氏名 宮崎 太郎 (自署) Wordでの入力是不可					

県 収 入 証 紙 貼 付 欄
「宮崎県収入証紙」を貼付ける
(普通免許状又は特別免許状の場合 5,000 円) (臨時免許状の場合 3,400 円)

受付日付
点線内は記入不要

※以下、宮崎県教育委員会記入欄

根拠規定	免許法第 () 条第 () 項別表第 ()	審査		
普通免許	添付書類	学力に関する証明書	戸籍抄本	
		実務成績証明書	基礎資格	
		人物に関する証明書	修得単位	教科・養護・栄養及び教職
		身体に関する証明書		特支
		教員免許状の写し	所要資格取得年度	年度
臨時免許	添付書類	臨時免許状授与内申書	講師	卒業、修了又は資格に関する証明書
		人物に関する証明書		成績証明書
		身体に関する証明書	更新する臨免原本	
		教員免許状の写し等	戸籍抄本	
		教諭 教科教育成績証明書		
特別免許	添付書類	人物に関する証明書	推薦書	
		身体に関する証明書	卒業、修了又は資格に関する証明書	
		実地に関する経験又は技術の証明書	戸籍抄本	

実務成績証明書							
勤務校	〇〇市立〇〇小学校		氏名	宮崎 太郎		生年月日	〇〇 年 〇 月 〇 日
勤務成績		優良・不可 ※どちらかに○をつけ、評価の基礎となる具体的内容を記入すること 本校で3年以上にわたる勤務経験があり、勤務態度も真面目で良好である。					
① 教員としての在勤期間	学校種	職名	担当教科	期間	合計		
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）	非常勤講師	数学	〇年 〇月 〇日から 〇年 〇月 〇日まで	中学校（中等部）、高等学校（高等部）の場合は記入すること		
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）	臨時的任用講師		〇年 〇月 〇日から 〇年 〇月 〇日まで	△年 月 日		
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）	教諭		〇年 〇月 〇日から 〇年 〇月 〇日まで	1年 月 日		
	幼・小・中・高・ 特支（幼・小・中・高）			〇年 〇月 〇日から 〇年 〇月 〇日まで	年 月 日		
② 実際に勤務しなかった期間及び事由（休職・産休・育休等）	事由		期間		合計		
	育児休業		〇年 〇月 〇日から 〇年 〇月 〇日まで		年 □月 日		
			年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日		
			年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日		
			年 月 日から 年 月 日まで		年 月 日		
(①の期間) — (②の期間)					△年 □月 日		
上記のとおり副申する。 〇〇年 〇月 〇日 証明日は在勤期間以降の日付を記載 所属長職氏名 〇〇市立〇〇小学校 校長 日向 次郎							
上記のとおり証明する。 〇〇年 〇月 〇日 ↓宮崎県内の県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出 実務証明責任者 〇〇市教育委員会							

(備考) 1 勤務成績の欄には、勤務の状況、教育力、社会性その他について記入すること。
2 学校種の欄では、該当する学校種に○をつけること。なお、特別支援学校勤務の場合には、在籍した部も選ぶこと。
3 職名については、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、実習助手の別に記入する。講師の場合、常勤、非常勤の区別をして記入すること。
4 現任校で証明する場合、「期間」の終期は証明日と同日とすること。
5 複数の勤務校における在職期間を証明する場合は、それぞれの勤務校ごとに作成すること。
6 実務証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

人物に関する証明書											
氏名		宮崎 太郎		職名		教諭		生年月日		〇〇年 〇月 〇日	
観察事項（以下の該当欄に〇印を付すこと。）											
1	責任感	ややもすれば責任を回避しがちである	責任は果たすが不十分である	責任を果たす	責任を十分に果たす	〇	責任を積極的にしかも完全に果たす				
2	協調性	協力して仕事をする事が少ない	協力して仕事をするが範囲が狭い	協力して仕事をする	多くの人と協力して仕事をする		全ての人と積極的に協力して仕事をする			〇	
3	計画性	計画性が少なく着眼性もあまり良くない	着眼点は良いが計画性がやや少ない	計画性がある	計画性があり着眼も良好である		優れた計画性があり着眼も良く計画は周到である			〇	
4	信頼度	誠実さに欠けるところがあり信頼が薄い	一応信頼されるがいくらか誠実さに欠けるところがある	誠実で信頼される	誠実で人々からの信頼が厚い	〇	誠実で多くの人々から全面的に信頼される				
5	判断力	ややもすれば判断に的確を欠くところがある	おおむね中正な判断をするが適当とは言えない	中正な判断をする	中正で的確な判断をする		あらゆる場合に中正で的確な判断をする			〇	
6	言動	言動に慎重を欠きがちである	言動に慎重であるがやや明快さや節度に欠けるところがある	言動と動作とも普通である	言動は明快で動作に節度がある		言動は非常に明快で動作に節度があり品位も失わない			〇	
教員としての適格性		有・無 ※どちらかに〇をつけ、その理由を記入すること 〇〇〇であり、教育職員として適格である。									
上記のとおり副申する。 〇〇年 〇月 〇日 〇〇市立〇〇小学校 所属長職氏名 校長 日向 次郎											
上記のとおり証明する。 ↓宮崎県内の県立学校の場合、この欄は空欄のまま提出 〇〇年 〇月 〇日 実務証明責任者 〇〇市教育委員会											

(備考) 1 所属長の証明は、現職でない者は出身学校の責任者又は県教育委員会が適当と認める者によるものとする。

2 証明責任者とは、国立学校又は公立学校の教員については所轄庁、私立学校の教員については当該学校を設置する学校法人等の理事長をいう。

身体に関する証明書	
氏名	医療機関で記入
生年月日	年 月 日生
視力	右 (矯正) 右 左 左
聴力	右 左
疾病異常等の所見	
上記のとおり診断する。 年 月 日 医療機関 所在地 名 称 医師氏名 印	

この証明書に代えて、概ね1年以内の定期健康診断書の写し（所属長の原本証明付き）の提出も認める。

【原本証明の記載例】

この写しは原本と相違ないことを証明します。

○年○月○日 △△校長 日向 次郎 印